

平成19年度七歳合同祝

来る11月15日(木) 町内各小学校を会場に町主催で各分館ごとに七歳合同祝が行われます。

七歳合同祝は、今年で51回目を迎える毎年恒例の行事で、子どもたちの健やかな成長を地域の皆さんとお祝いするものです。



18年度の合同祝(佐川野小学校)

ふれあい 第19号

分館役員・館報編集委員

合同視察研修会

館報編集委員 館野 恒夫

去る7月13日、分館役員と館報編集委員で、南越谷公民館「パレット」(越谷市南越谷地区センター内)を視察研修に行きました。

この度の研修の目的は同公民館が平成18年度全国優良公民館を受賞され、この機会に諸活動状況を視察し、その成果と効果課題を通じ、野木町の現状を考へることでした。

市内には地域の拠点施設として地区センター・公民館が13カ所あり、一拠点施設として、南越谷公民館「パレット」が設置されています。地区人口は約2万6千人で野木町とほぼ同数です。

「パレット」では 生涯学習

「公民館 館報ふれあい」の記事
に關しての問い合わせ先
野木町公民館 ☎(57)4188

地域コミュニティ 福祉 防

災救援の4つの機能に加え、南越谷小学校の敷地内に設置されていることから、プールと学童保育室を併設、さらに住民票発行の行政窓口サービスを新たにスタートしたとのことです。また、防災救援の拠点として「防災備蓄倉庫」を併設する複合施設として整備されています。

公民館運営は館長を含め5名の市職員で対応しています。少子高齢化、国際化、余暇時間の増大など急速な社会変化に伴い、公民館に求められる機能も多岐にわたっているため、常に住民のニーズに対応し、都市型の行政主導で地域住民との協働を基本に推進しているようです。

特色ある事業として、音楽を通して地域文化の向上を図るため地域住民主体に企画運営し、「うたごえパレット」「こども太鼓」「音楽フェスタ」などの事業を実施しているとのことでした。



研修を通し、野木町の公民館事業と分館活動とは主体が異なりますが、各5学区単位で町公民館ではできない事業を地域の特色を活かして実施するのが分館活動であり、自主運営することが今の野木町にとっては良い方法ではないかと感じました。今回の研修を今後の地域活動の中で参考にして役立てたいと思います。

分館から

南赤塚
県民バスに
参加して



初めて県民バスに参加しました。県民バスとは30年前からはじめられ、県の施設を見て、そこではどんな役目と働きがなされているかを知り県民としての意見が県政に反映できるということでした。7月21日、藤岡町と合同で90歳の男性を始めとして男女程好い年齢割合で益子の窯業技術支援センターに向かいました。そこでは伝統技術を基にした作品から、現代のニーズに合わせた色や型、障害者や高齢者に使いやすい新しい作品が発表されていました。若い女性の方の努力している姿が印象的

した。次の農業大学校は広大な敷地で、米麦、畜産、野菜、花果树、農業機械運転技能など将来の農業と農家生活の実践教育を行っている所を見ることができました。質問としては、農業や遺伝子組み替えによる身体への影響や栃木を代表するいちご農家の経済的働きの大きさなど、興味あるものでした。農業大学校は若い方々ばかりの場ではなく、新たに農業を始めたいと考える方々に応じられる各コースもある様です。現在は少子化の影響もあり、一人でも多くの方が大切な農業の道を目指してほしいと話されていました。

新橋

菊づくり講習会

毎月1回、講師宅及び新橋小学校を会場に「菊づくり講習会」を実施しています。3月の苗の移植から始めて、5月の挿し芽7月の定植、8月・9月のやなぎ手入れ、10月の輪台つけと進み、11月の町文化祭には大輪の菊を展示する予定となっております。

今年7月の講習会が台風4号の影響で強風と強い雨の中で実施となるハプニングがありましたが、菊の生育状況も良く、大変楽しく講習会を続けています。

また、小学生を対象にした講習会も並行して実施しており、新橋小学校の校庭には生徒の作品が約30鉢、元気に育っています。町の文化祭には一般・小学生の作品があわせて展示されますので皆さんもぜひお出かけください。お待ちしております。



佐川野

日光世界遺産と

鬼怒川へ

(研修旅行)

3月頃からバスの予約をし、参加者の皆さんが何人集まるか不安でしたが、8月28日、25名

で町有バスで出発しました。日光は、杉の大木があり、涼しく別世界の感がありました。そこには多くの大きな神社、仏閣があり、参加者の皆さんは自由行動で1時間30分の見学、杉の木立散策などで楽しまれたようです。多くの遺産を見て、昔を思い、数百年前に建てられたことを思うと、果たして現在の手間を省く合理的な世の中で、これだけの時間をかけ、精巧で繊細なものが作れるかと思う心境でした。12時に次の目的地、鬼怒川へ向かいました。名だたる老舗での昼食です。数あるお膳の前に、宴会が始まり、舌づつみしつつ、歌も始まり、楽しく交流を持つことができました。時の経つのも忘れ、楽しく過ごしました。その後、入浴をし、お土産を購入して家路に着きました。



サークル

紹介

よさこい 野木ひまわり

私たちは、地元唯一のよさこいチーム「野木ひまわり」です。明るく！元気に！いつも笑顔で…をモットーに日々チーム一つになつて活動しております。時には、鳴子を持って元気に、「よさこいソーラン」よさこい野木、時には手話で心を込めて「命ありがとう」「生きてるっていいね」などいろいろ踊っています。

年間を通して、各種イベントに参加したり、ボランティアで施設を訪問し、皆様に元気になつていただくと同時に、私たちもパワーをいただいております。メンバーは小学生から60歳、70歳代と幅広く、世代を越えて和気あいあいと楽しく活動しております。ぜひ一度見学にいらして、どうぞ気軽に踊りの輪のなかにお入りください。心よりお待ちしております。

練習日 毎週金曜日

午後7時30分～9時

野木中旧体育館

連絡先

武島

☎(56)1607

鈴木

☎(57)3526



インディアカ

インディアカとは、バドミントンコートで4名対4名で赤い4枚の羽根がついたインディアカボールを手で打ち合うスポーツです。

現在、野木町には2つのサークルがあります。20代～60代までの男女で活動しています。

試合は年に、県大会2回、関東大会、全国スポレク祭などが

ら幸手市などのフレンドリーな交流試合まで、いろいろ楽しめます。昨年は、2つの合同チームで全国スポレク祭に出場しました。練習日等は以下のとおりです。

毎週土曜日午後8時～

町体育センター

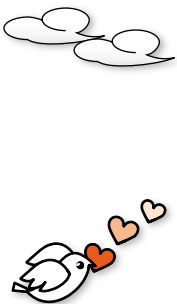
毎週木曜日午後8時～

新橋小体育館

サークルに属さなくても気軽に楽しめる練習日もあります。興味のある方はぜひ一度参加してみてください。

連絡先 五月女

☎(57)1682



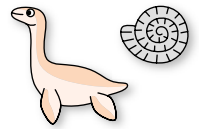
夏休み工作教室

公民館講座「夏休み工作教室」をSVC(公民館サポートボランティアグループ)の方々に先生に迎え、実施しました。参加した子どもたちのアンケートからは、先生へお礼の文もみられ、参加者、先生ともに楽しく交流がもてた講座となりました。



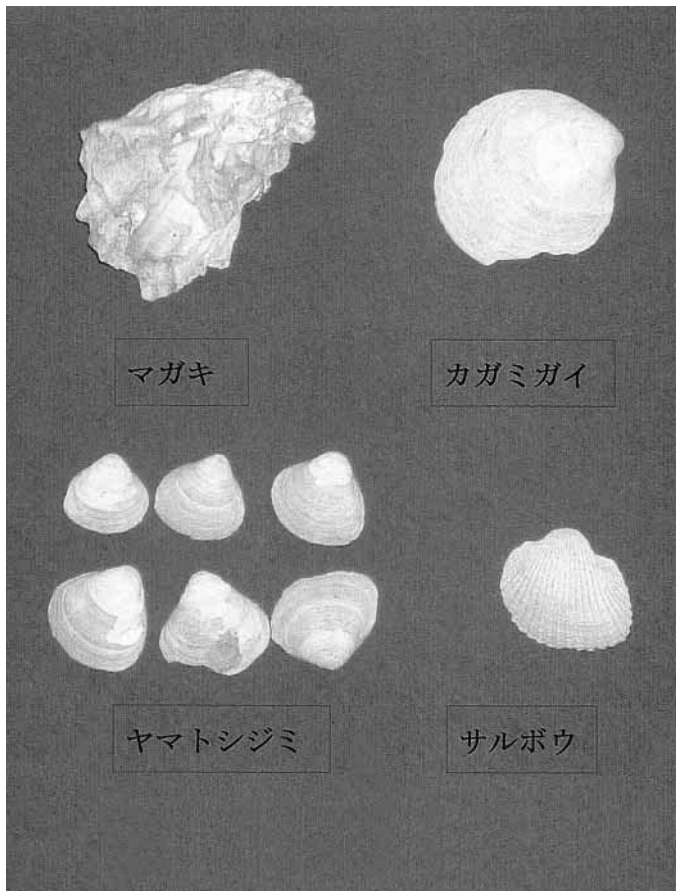


歴史の散歩道



「歴史の散歩道」と題しまして“野木町の歴史紹介”(全6回予定)をこのページで特集しています。読者の皆さんといっしょに、楽しみながら、野木町の生い立ちを知っていきたいと思います。なお、この記事は、野木町郷土史研究会のご協力をえて、寄稿していただいたものです。

第3回 縄文時代の遺跡、野木の貝塚



野渡貝塚出土の貝類

温暖化による縄文海進(海面上昇により海が内陸部に入り込む現象で約6千年前〜5千年前頃が最盛期)により古河・藤岡・板倉を結ぶ線まで海岸線が入り込んで出来た奥東京湾は、魚貝類の宝庫で、この湾岸には縄文人の遺した貝塚が数多く発見されています。特に藤岡町の篠山貝塚は大規模で、貝のほとんどがヤマトシジミで若干マガキが混じっていたようです。またシカ・イノシシなどの骨やクロダの骨も見つけられています。

野木町では野渡貝塚・新田貝塚・御櫛内貝塚などが発掘されています。野渡貝塚は昭和14年・44年・62年の発掘調査から13カ所が確認されています。この貝塚の貝類は篠山貝塚のものと同様であったようです。またここからは二片の獣骨と土器・石器・住居址なども発見されています。昭和14年の発掘で出土した土器の一部は現在京都大学に保管されていますし、出土した貝は、野木町郷土館に展示されています。

また、貝類の中にオキシジミ・マガキ(湾奥部生息)、カガミガイ・サルボウ(湾中央部生息)、マシジミ・ヤマトシジミ(河口生息)などが含まれています。

御櫛内貝塚は昭和40年頃発見されたもので、約2m四方以上の範囲で、厚さ30cmの貝層が確認されています。貝層の中から土器が2固体出土している。出土した貝層は郷土館に展示しています。

この他に、平成5年〜6年に発掘された清六遺跡では、縄文人が食料(ドングリなどの木の実)貯蔵庫にした、つぼ型の地下穴に捨てられたシジミなどの貝殻が発見されています。

貝塚は、縄文人の生活を知る上で大変貴重なものです。なぜなら関東ローム層は酸性で骨などはすべて溶かしますが、貝塚はアルカリ性で食べた獣や魚の骨などを現代まで残しているからです。

(軽部重夫記)

次回は「清六遺跡」を予定しています。

